

学校安全学シンポジウム2024

子どもの人権と 安全を守るために



— マルトリートメントとセーフガーディング —

教職員が学校現場の安全を守る一方で、子どもの安全を脅かす存在となることがあります。これはマルトリートメントと称され、近年、子どもに関わる大人の姿勢・倫理観の見直しが強く求められています。

本シンポジウムでは、学校や児童施設などの子どもが関わる場全体を安全な場所にするための方策を検討することを目的に、教室マルトリートメントを提唱する川上康則氏、「子どものセーフガーディング」に取り組む金谷直子氏、再発防止「岩手モデル」(TSUBASAモデル)の策定に携わった南部さおり氏による発表とディスカッションを通じ、学校安全と子どもの人権保障について考えていきます。

※再発防止「岩手モデル」(TSUBASAモデル)

指導死事案を契機として、岩手県教育委員会が2024年5月29日に策定・公表した再発防止モデル。

※「教室マルトリートメント」

教室で行われる子どもの心を傷つけるような不適切な指導を示す造語

かなたに なおこ
金谷 直子 氏

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

・「子どものセーフガーディング」スペシャリスト

かわかみ やすのり
川上 康則 氏

杉並区立済美養護学校 主任教諭

・主著『教室マルトリートメント』

なんぶ さおり
南部 さおり 氏

日本体育大学スポーツ文化学部 武道教育学科 教授

・再発防止「岩手モデル」(TSUBASAモデル)の策定に携わる

・主著『反体罰宣言 日本体育大学が超本気で取り組んだ命の授業』

**2024年
11月3日(日)**
13:00~16:00

**参加
無料**

**オンライン
開催**



お申込みはこちらから

WEB: ZOOMウェビナー

申込締切: 10月31日(木)17:00

主催: 岩手大学教育学部附属教育実践・学校安全学研究開発センター

後援(予定): 岩手県教育委員会、日本安全教育学会、大阪教育大学学校安全推進センター